

第1節 よこはまの人

ぜいたく嫌い保守堅実派



古くからのしきたりにこだわる古風な人。

仏滅の結婚式にはいい顔をしないし、墓参りは欠かさない。考え方は保守的だが、自分の主張を押し通すことはめったにない。しかし、一度言い出したらガンコだ。

贅沢は嫌いで、歩ける距離ならタクシーなどには乗らずに歩く。欲しいものがあったとしてもあれこれ考えて結局貯金してしまったりする。洋服や遊びにもお金はかけない。遊ぶといっても、せいぜい1年か2年に1度、国内旅行に行くぐらいだ。旅行に行っても、やっぱり家が一番落ち着くなどと思ってしまう。外食もあまりしない。

親せきや近所の人とはよくつきあうが、それ以外は交際範囲は広くない。休日も出発かず、家でテレビを見て過ごすことが多い。

新しいものは苦手で、パソコンやCDなどにはさわらないようにしている旧人類だ。

保の衣食住

- 衣：着るものには無頓着でお金はかけない。センスには全く自信がない。
- 食：外食するより、何でもいから家で食べたい。
- 住：たたみの上にふとんでないと眠れない。年をとったら、子どもと同居するのが自然だと思う。
- 医：具合が悪くなると、すぐ医者に見てもらう。
- 遊：最近はやりの遊びには興味がない。海外旅行には行ったことがない。
- 買：ブランドものは、名前すら知らない。
- 交：初対面の人とはなかなか、うちとけられない。勤め先や学校のときの友人以外は、友人はあまり多くない。親戚とのつきあいは多い。
- 金：欲しいものがあったとしても、貯金してしまうことがある。クレジットカードは持っていない。

保と横浜

- 市政への評価：まあまあ満足している。特に交通の便は、ずいぶん良くなってきた。ただ、高齢者対策については、まだ不満である。
- 市政への要望：やはり、高齢者対策に力を入れてほしい。
- 定住意識：住みなれた今の家に、ずっと住み続けるだろう。
- 横浜のイメージ：力強い都市だと思っている。ハイセンスだとかエキゾチックという言葉には、抵抗を感じる。
- 次代に伝えたい横浜の姿：水と緑と豊かなうるおいのある街。

CASE STUDY



フェイスシート

60代男性
妻と娘夫婦と同居
無職
市内在住32年
戸建て 持ち家
市営地下鉄沿線在住

「なるほどザ・ワールド」や
プロレス中継もよく見る。



新聞は読むが、
雑誌はほとんど
読まない。

あまり外では
飲まない。

共働きの場合
でも、家事は
女性がやるべ
きだと思う。



TVは「火曜サスペンス」
や演歌ショーをよく見る。

街で外国人に
話しかけられ
たら困る。

よこはま市民生活白書'88 ②【第一章】くら

外食はめったに
しない。

五木ひろしと細川たかしのファン。民謡も好き。



好きな歌は演歌。



歩ける距離は歩く。
タクシーなどには乗
らない。

墓参りは毎年
欠かさない。

お守りは大切に
持っているほうだ。

フェイスシート

70代女性
息子夫婦と同居
無職
横浜生まれ
戸建て 持ち家
市営地下鉄沿線在住